

G7 男女共同参画担当大臣ミーティング

1



内閣府男女共同参画局

G7 男女共同参画担当大臣ミーティング

2

- ▶ 昨年11月にイタリア・タオルミーナにおいて、G7(日本、米国、英国、イタリア、カナダ、ドイツ、フランス)及びEUの男女共同参画担当大臣が一堂に会し、初めてG7男女共同参画担当大臣会合が開催された。
- ▶ 第62回国連女性の地位委員会(CSW)の開催(2018年3月12日～3月23日)に合わせ、3月12日にニューヨークの国連本部において、タオルミーナの会合での議論等について、引き続き意見交換する場が設けられた。
- ▶ G7及びEUの男女共同参画担当大臣等に加えて、男女共同参画評議会のメンバーも一堂に会し、国際社会が直面する様々な男女共同参画、女性活躍に関する課題について意見交換を行った。

G7 男女共同参画担当大臣ミーティング 議題

3

- ▶ 男女共同参画評議会 (Gender Equality Advisory Council) の設置について決定
(各国の有識者から構成)
- ▶ 国際社会が直面する様々な男女共同参画、女性活躍に関する課題についての意見交換
(ジェンダー主流化、女性に対する暴力 等)
- ▶ 今後、G7タオルミーナ・サミット(2017年5月)の成果である「ジェンダーに配慮した経済環境のためのG7ロードマップ」のフォローアップを行っていくことについての確認

G7 男女共同参画担当大臣ミーティング 各国政府関係の出席者

4

- マリアム・モンセフ 女性の地位担当大臣(カナダ)
- マルレーヌ・シアパ 首相付 女男平等担当大臣(フランス)
- ニッキー・ヘイリー アメリカ合衆国国際連合大使(米国)
- ケリー・E・カリー アメリカ合衆国国連経済社会理事会大使(米国)
- ヴィクトリア・マリー・アトキンス 政務次官(犯罪、安全保障、脆弱性担当)兼 女性担当大臣(英国)
- エルケ・フェルナー 連邦家族・高齢者・女性・青少年省 政務次官(ドイツ)
- 山下 雄平 内閣府大臣政務官(日本)
- テレサ・ベラノヴァ 経済開発副大臣(イタリア)
- ネベン・ミツァ 国際協力・開発担当欧州委員(EU)



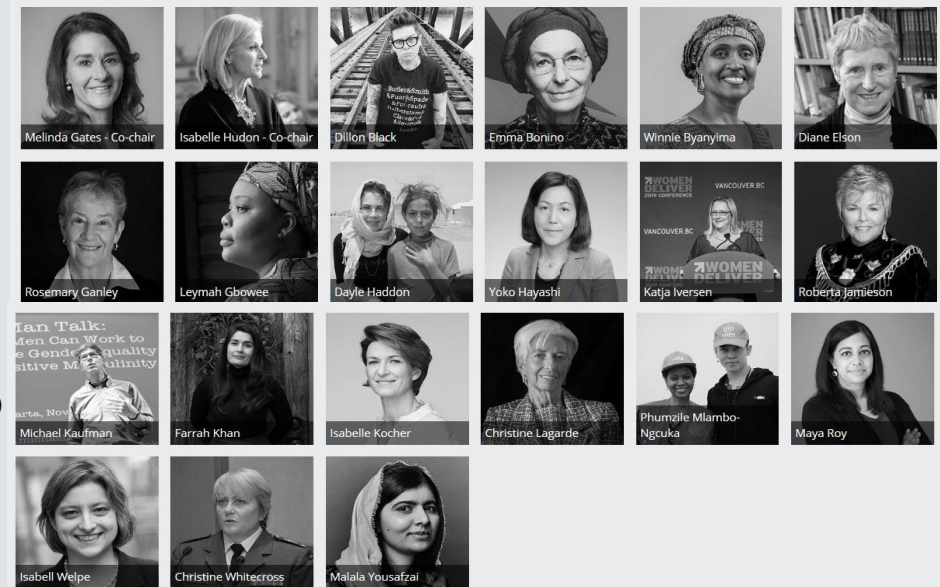
山下雄平内閣府大臣政務官

G7 男女共同参画担当大臣ミーティング

男女共同参画評議会 (Gender Equality Advisory Council) メンバー

5

- イザベル・ヒュードン, 共同議長 兼 在仏カナダ大使(カナダ)●
- ローズマリー・ガンレイ, コミュニティ・オーガナイザー(カナダ)●
- マヤ・ロイ, CEO of YWCA カナダ(カナダ)●
- カジャ・イヴェルセン, President & CEO of Women Deliver (デンマーク)●
- ダイアン・エルソン, エセックス大学教授(英国)●
- マイケル・コーフマン, ホワイトリボン・キャンペーン共同設立者(カナダ)●
- デイル・ハードン, Women One 創設者(カナダ)●
- メリンダ・ゲイツ, ビル&メリンダゲイツ財団共同会長(米国)
- プムズイレ・ムランボ=ヌクカ, UN Women事務局長(南アフリカ)
- ウィニー・バイアンイマ, Oxfam International 取締役(ウガンダ)
- レイマ・ボウイ, ノーベル平和賞受賞者(リベリア)
- 林 陽子, 弁護士、国連女子差別撤廃委員会委員(日本)
- ロバータ・ジェイミーソン, President & CEO of Indspire(カナダ)
- ファラー・カーン, ライアソン大学 Consent Comes First マネージャー(カナダ)
- ディロン・ブラック, 反暴力・LGBTQ提唱者(カナダ)
- エマ・ボニーノ, WE-Women Empower the World 代表(イタリア)
- イザベル・コップフェル, CEO of ENGIE Group(フランス)
- クリスティヌ・ラガルド, 国際通貨基金専務理事(カナダ)
- イザベル・ウェルペ, ミュンヘン工科大学教授(ドイツ)
- クリスティン・ホワイトクロス, カナダ軍中将(カナダ)
- マララ・ユスフザイ, ノーベル平和賞受賞者(パキスタン)



(カナダ政府G7公式ホームページより引用)

(●が付いている方は、3月12日開催のミーティングの出席者)